

クロム活用シート

2 年 算数 科

1. 単元名『算数のじゅうけんきゅう』
2. 本時の評価規準
見通しをもちながら、線路の構成を考えている。【思考・判断・表現】
3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	・ 3種類の線路のカードを使って、ぐるっと回る線路の形を作ることを知る。	A1 線路のカードとつながったものを提示する。
展開	・ 線路の全体の形から、どの種類のカードをどれだけ使ったらよいかを考える。 ・ 実際に並べて線路ができるかどうかを確認める。 ・ 作った線路は、どんな種類のカードが何枚で構成されているかを確認する。 ・ 違う形の線路にも取り組む。作ったものとどこが違うか、そうなる何を使うとできるかを考えてから、線路を作る。	B1 それぞれが必要なカードを動かし、形を作る。 B4【思・判・表】 自分で検討をつけた線路のカードを並べ、線路を作る。
終末	・ 提示した線路の形と比べ、使うカードを考えながら、自由にぐるっとまわる線路の形を作る。 ・ どの種類を何枚使ったかを確認しながら、作った線路の形を発表交流する。	B3 作った形と並べ方を比較しながら、新しい線路の形を作る。

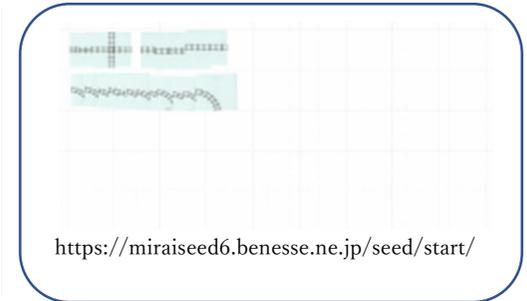
4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	I	問題解決・探求における情報を活用する力
	①	情報を収集・整理し、分析、表現する力
		情報の大体を捉え、分解・整理し、自分でまとめる力

A1 教師による教材の提示

使用するアプリ等 オクリンク

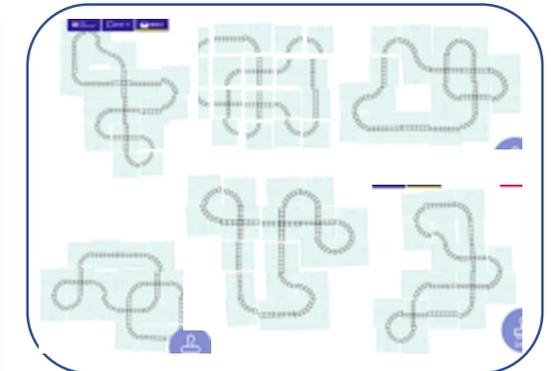
	活用の流れ
①	線路カード（3種類）を画像として取り込む。
②	既定の枚数分コピーし、オクリンクで児童に配布する。



B1・B3・B4 見当を付けながら、線路の形を作る。違いを見つけ、新しく作る。

使用するアプリ等 オクリンク

	活用の流れ
①	手本の線路の形が、どのカードで構成されているかを考える。
②	3種類のカードを何枚使うか見通しをもち、そのカードを準備して線路の形を作る。
③	他の形との違いを捉え、新しい形を自由に作る。



活用の効果

- ・ カードを何枚も大量に作る必要がなく、児童の手元もごちゃごちゃにならずに活動できる。
- ・ カードを選んだり、回したり、コピーしたりすることで、課題解決ができる。
- ・ 自由に組み合わせて、いろんな形を作り出し、比べることができる。